

児童発達支援事業に係る自己評価結果

公表日：2020年12月7日

事業所名：こども支援センター スマイル

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動に応じて机や椅子などは随時片付けて、スペースを確保するようしており、活動に必要なものについては収納しています。	はい95%(十分広いと思う。) わからない5%	今後も継続して、活動や課題の状況に応じて環境を整えていきます。
	2 職員の適切な配置	法令で必要とされる配置をしています。また、言語聴覚士や作業療法士も確保しています。	はい84% どちらともいえない5% わからない11%(専門性は人によるのかなと思う。)	今後も継続して、活動内容に応じた人員配置を行っていきます。職員は、10名の定員に対して必ず5名を配置するようになっています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内はバリアフリー化の構造になっています。子どもたちが視覚的に気になる物は外して、写真やイラストなどで視覚的にわかりやすくしています。	はい90%(トイレスペースや手洗い場など、子どもに教えやすく、使いやすい造りになっていると思う。) どちらともいえない5% わからない5%	今後も安全面を配慮し、視覚を意識した分かりやすい伝え方を心掛けます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃し、活動に使うもの(椅子や机、おもちゃ等)はアルコール消毒を実施しています。活動に最適な空間づくりを心掛けています。	はい100%	今後も引き続き、清掃や消毒をこまめに実施し、冷暖房利用時についても意識して換気を行います。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	開始前の申し送りと、終了後の振り返りを行い、業務における注意事項等の確認をして、業務改善に努めています。	/	今後も継続して行っています。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	定期的に、外部の方による外部監査を実施しております。	/	引き続き、外部監査を実施し、業務改善に努めていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	スマイルの3事業所内でスタッフが順に実務研修を行い、全体会議で研修内容の報告をして、資質の向上に努めています。また、外部の研修についても、お知らせを随時職員に発信しています。	/	職員が様々な研修に参加できる体制を整え、職員のスキルアップに繋げると共に、研修で得た知識内容を職員間で共有したいと思います。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	今年度はコロナウイルス感染感染予防のため、場合によっては電話での聞き取りをさせて頂いています。現状の把握と今後の課題について聞き取りをした後に、その内容を踏まえた支援計画の作成に努めています。	はい100%(モニタリングで日頃の活動の様子から、その子その子に合った計画がされているし、保護者にも話しがきちんとされている。)	今後も継続してアセスメントを行い、保護者の方と一緒に今後の課題や支援方針を検討していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	支援計画作成後は、職員全体会議等で内容を共有し、支援計画に基づいて支援を行っています。	/	個人の現状に合わせた個別活動と集団活動を組み合わせて、個別支援計画を作成します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画は、目標に対して具体的にどのように支援を行っていくのかを分かりやすく記載するように心がけています。	はい100%	今後も引き続き、具体的で分かりやすい支援内容を明記し、実際の支援に繋げていくようにします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に基づいて支援を行い、一人一人の特性や興味、取り組みの様子に合わせて支援方法を職員間で話し合って実施するようにしています。	はい94% 無回答6%	引き続き、支援計画の内容を職員間で共有し、支援計画に基づいて支援を行っていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月活動や課題のテーマに沿ったプログラムを考え、担当者を決めてチーム全体で活動内容の工夫に努めています。		引き続き、担当職員が中心となって、各活動の内容をチーム全体でより良いプログラムになるよう検討していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は集団活動や個別活動を行っています。土曜日や長期休暇はサービス提供時間が短くなるため、時間に合わせたプログラムを考え、支援を行うようにしています。		今後も、サービス提供時間を考慮しながら、子どもたちのペースに合わせて、様々な活動経験ができるように支援内容を充実させていきたいと思っています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月単位では手作りおやつや課題活動の内容を変えるなどして、また週単位ではリトミックやサーキット運動などプログラムに少しずつ変化をつけて、子どもたちが楽しみながら活動できるように工夫しています。	はい95%(活動を通して色々な経験ができてありがたい。季節や行事を取り入れているところがよいと思う。) わからない5%(通い始めたところで、今は分からない。)	今後も、子どもたちが飽きずに楽しく活動に取り組めるようなプログラムを意識して企画していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日支援前には職員でミーティングを行い、その日の利用児童、プログラムの内容、役割分担、注意点等を確認しています。		今後も継続して行っています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後もミーティングを行い、利用児童一人一人について振り返りをして、職員間の情報共有をしています。また、毎月の職員全体会議で、事例検討を行い、支援内容についての話し合いも行っています。		今後も継続して行っています。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ミーティングで出た活動や課題の取り組み状況を記録し、それを基にして支援計画に対する評価をしています。また、支援の見直しや改善についてもその都度話し合うようにしています。		今後も継続して行っています。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に、保護者の方と定期的なモニタリングを実施し、個別支援計画作成後は職員全体会議		今後も継続して行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席し、会議の内容については職員選対会議で報告しています。	今後も継続して行っています。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて保育所や認定こども園、幼稚園へ訪問を行ったり、また担任の先生や加配の先生に来所していただいたりして、互いに情報共有を行い、関係機関との連携に努めています。	引き続き、保護者の方や先生方からのご依頼がある場合には、児童発達支援責任者や支援担当者が園等を訪問して、互いに情報共有しながら支援方法を統一していきます。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者の方からご依頼があれば、当事業所での様子や支援の方法、配慮など必要事項について書面でお渡しするようにしています。	引き続き、保護者の方や卒業後の進路先からご依頼があれば、可能な限りの情報提供に努めていきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修については、毎年職員が順に受講するように促進しています。	今後も継続して行っています。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在保育所等との交流はありません。昨年度は子育てプラザなど、地域の子どもたちが集まる場に出かけていましたが、今年度はコロナウィルス感染防止の観点から自粛しています。	はい17% どちらともいえない22%(今年度はコロナのため仕方がないと思う。幼稚園と併用しているお友達がいることは刺激になっているようだ。今のスマイルのお友達との関係を本人なりに楽しんでくれれば十分。) いいえ22%(スマイルを通じての交流はなかったと思う。) わからない39%(通い始めたところで、今は分からない。)	今後はコロナウィルス感染状況を鑑みて、外出活動や地域の施設に出向く機会ができるよう企画検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の公園に行ったり、散歩をしたりした時は、地域の方に挨拶を行うよう努めています。季節のイベントでは、事前に協力をご依頼して、参加していただいています。		今後も機会があれば、継続して地域の方との交流をしていきたいと思えます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容、利用者負担等については、見学時や契約時に説明しています。また、保護者の方から質問があった時には、その都度説明しています。	はい90% どちらともいえない10%(説明はないが、毎回きちんと渡して頂いている。)	今後ご理解いただけるように、しっかりと説明していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	懇談や送迎時等に、支援計画を示しながら説明を行っています。	はい100%(モニタリングで日頃の活動の様子から、その子その子に合った計画がされているし、保護者にも話しがきちんとされている。)	今後も継続して行っています。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	一昨年から未就学児の保護者の方を対象にペアレント・トレーニングを開催しています。今年度も継続して行っています。	はい61% どちらともいえない11%(ペアトレが行われているが、日程が合わずなかなか参加が難しい。ペアトレがあるのは教えてもらったが、参加していない。) わからない22%(通い始めたところで、今は分からない。)無回答6%	来年度以降も毎年実施予定です。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡ノートで、その日の様子や活動への取り組みなどについてお伝えします。ご家庭での様子についても、連絡ノートや送迎時の聞き取りなどを行い、共通理解を心掛けています。	はい94%(一日の様子を細かく報告して下さり、できた事を一緒に喜んでもらえて励みになっている。毎日の日記でよく伝えてもらっている。)無回答6%	今後も継続して行っています。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談をいただいたら、早期の段階で送迎時や必要に応じて電話で対応し、解決に向けたサポートができるよう努めています。必要に応じて、相談専門員への相談や他機関の紹介を行っています。	はい94%(定期的に行われている。) わからない6%(通い始めたところで、今は分からない。)	今後も継続して行っています。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年に2回茶話会を実施していましたが、今年度はコロナウィルス感染予防のため自粛しています。	はい46%(今は無理だが、環境が落ち着いたら茶話会等してほしい。)どちらともいえない27% いいえ5% わからない22%(コロナのため、茶話会ができないのは残念。でも、送迎時に保護者同士で話しができていたので助かる。)	茶話会は、コロナウィルス感染状況を鑑みて、企画検討していきたいと思います。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口は契約時に説明しています。苦情等があった場合、事実確認と原因や改善点等について職員間で話し合い、迅速かつ丁寧に対応するように心掛けています。	はい73% どちらともいえない5% わからない22%	今後も継続して行っています。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもとの意思疎通については、必要に応じて視覚支援等で対応しています。スマイルでの様子は、連絡帳に記載したり、送迎時に口頭でお伝えしたり、必要に応じて電話連絡も行っています。	はい90%(連絡帳などで知ることができるのは◎。) どちらともいえない5% わからない5%	今後も継続して行っています。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月園便りを発行し、活動内容や行事予定、連絡事項と共に、活動の様子が分かるように写真を掲載しています。	はい84%(便りのスナップ写真は楽しみにしている。毎月活動のプリントをもらっているの、予定を立てやすい。) どちらともいえない11% わからない5%	今後も継続して行っています。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に保護者の方に個人情報同意書を記入していただいています。個人情報等の取扱いについては、他者の目に触れることがないように、事業所内の施錠等を徹底しています。	はい90% わからない10%	個人情報等の取扱いは、今後も十分気をつけていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、マニュアルは職員がいつでも見られるように事務所内に掲示しています。保護者の方には、緊急時の避難場所や対応をお知らせし、個別支援計画にも記載しています。	はい78% どちらともいえない22%	今後新規の方には、契約時に説明をするようにし、利用されている方には、書面にまとめて定期的に配布していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、火災・地震・不審者侵入のいずれかを想定した避難訓練を実施しています。また、子どもたちと共に、実際の避難場所へのルート確認等も行っています。	はい100%	今後も継続していきます。今後も月に1回の実施日を園便りでお知らせし、訓練の様子等を保護者の方にお伝えするようにしていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員に対しては、定期的に研修のお知らせを行っています。研修内容については、職員全体会議において報告することで、周知できるようにしています。		研修のほか、時事ニュース等の情報内容も職員全体会議で情報共有し、虐待防止への意識を高めていきます。また、虐待が疑われる時には、関係機関と連携し、適切な対応に努めます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	これまでに身体拘束をするような事例がありませんでしたが、命にかかわる場合には、保護者の方の同意を得たうえで対応させていただきます。		現状を維持します。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に、食物アレルギーのあるお子様については症状や対応について、詳細を確認し、職員間で情報共有しています。また、おやつを用意時等、誤って飲食することがないよう、お子様の名前とアレルギー物質を提示しています。		今後も継続して行っています。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットや事故は、その都度、報告書を作成し、発生状況や経緯、原因、再発防止への取り組みを職員間で共有しています。		今後も継続して行っています。